



# 須江小だより

No.2

令和6年5月1日発行

## きれいな花を咲かせるために

校長 佐々木 淳

桜の季節が終わり、校庭の花壇に赤・白・黄色のチューリップの花がきれいに咲きそろっています。チューリップの球根の植え付け時期は、紅葉の見ごろを目安にするとよいと言われています。植え付けられた球根は秋と冬を超え、寒さを経験して花芽を形成します。地面の中で冬を越さないと、きれいな花が咲かないのだそうです。じっと我慢していたぶん、きれいな花をつけることができるのですね。



校庭に咲くチューリップ



これは、体育館やプール工事のためにいろいろなことに制約を受けている須江小の子どもたちと似ているように思います。始業式や朝会は放送、入学式は遊楽館、体育や外遊びでは校庭の半分しか使えません。それでも、図書館で本を読んだり、ふたばの森で遊んだり、半分だけの校庭でも元気に遊んだりして、できる範囲で楽しく過ごす子どもたち。その姿を頼もしく思うとともに、須江小っ子の明るさと前向きな姿に感心しています。新しい体育館やプールが完成し、校庭が存分に使えるようになったら、思いっきり楽しんでほしいと思っています。

保護者の皆様にもご迷惑をおかけしています。学習参観やPTA 総会では大変不便な思いをされたことと思います。それでも先日はたくさんの方に御参加いただき、深く感謝いたします。私たちと保護者の皆様とが一緒になって子どもたちを見守っていることを改めて感じ、大変心強く思いました。プールの完成は6月、体育館の完成は3月を予定しています。

まだご不便をおかけしますがご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

チューリップの花言葉は須江小っ子運動にもある「思いやり」です。須江小学校の子どもたちが、家族や友達への思いやりの心もち、我慢の時期を超えてきれいな花を咲かせ、チューリップのように太陽に向かってまっすぐに成長していけるよう、力を尽くしていきます。

交通安全クイズ ○○を歩く ○○○を見る ○○○をする（答えは裏面）